

資料編

1 策定体制

本町の農業振興の目指すべき方向性をまとめた第二次丸森町農業振興ビジョンの策定に当たり、学識経験者及び農業関係者等で構成する第二次丸森町農業振興ビジョン策定委員会を設置いたしました。

●第二次丸森町農業振興ビジョン策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 農業振興の目指すべき方向性をまとめた第二次丸森町農業振興ビジョン（以下「ビジョン」という。）を策定するため、第二次丸森町農業振興ビジョン策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) ビジョンの策定に関すること。
- (2) その他ビジョンの策定に必要な事項

(組織) 第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する委員（以下「委員」という。）15名以内をもって組織する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 農業関係者
- (3) 公共的団体等に属する者
- (4) その他町長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から1年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を各1名置き、それぞれ委員の互選により定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長を務める。ただし、委員長の選出前の会議は、町長が招集する。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(検討部会)

第7条 委員会での協議を円滑に行うため、必要に応じて検討部会を置くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、農林課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この告示は、令和6年7月1日から施行する。

●第二次丸森町農業振興ビジョン策定委員（任期：令和6年7月12日～令和7年3月31日）

(敬称略)

No.	所 属 等	氏 名	備 考
1	東北大学大学院農学研究科 次世代食産業創造センター 教授	伊 藤 房 雄	委員長兼アドバイザー
2	東北大学大学院農学研究科 農業経営学分野 准教授	水 木 麻 人	アドバイザー
3	宮城県大河原地方振興事務所農業振興部 総括技術次長	千 葉 奈穂子	
4	丸森町農業委員会 会長	根 元 茂	
5	みやぎ仙南農業協同組合丸森地区事業本部 地区事業本部長	水 戸 慎太郎	
6	農事組合法人羽山の里佐野 代表理事	矢 吹 純 一	
7	丸森町認定農業者連絡協議会 会長	梶 賀 浩 之	
8	宮城県指導農業士	大 内 喜 博	
9	丸森町酪農振興組合 ホルスタイン改良部会 部会長	菊 地 武 士	
10	新規就農者	堀 哲 弥	
11	丸森物産いちば八雄館 店長	武 内 香 織	
12	消費者	天 野 理 恵	
13	消費者	石 塚 恵 美	
14	丸森町農林課長	引 地 誠	副委員長
15	丸森町農業創造センター研究部長	齋 藤 益 郎	

●オブザーバー

No.	所 属 等	氏 名	備 考
1	東北農政局宮城県拠点 地方参事官	長 田 恵理子	

●事務局

No.	所 属 等	氏 名	備 考
1	丸森町農林課 課長補佐	八 巻 孝 志	
2	〃 農政班長	菅 野 寛	
3	〃 農政班主任	高 橋 瑞 暉	
4	〃 農政班主任	三枚橋 真 彦	
5	〃 農政班主事	齋 藤 あゆみ	
6	〃 農村整備班長	荒 祐太郎	
7	〃 林業振興班長	岡 崎 俊 輔	
8	丸森町農業基盤整備室 参事兼室長補佐	水 上 博 一	
9	〃 主任	渡 邊 智 哉	
10	丸森町農業委員会 事務局長補佐	中 村 比 彦	
11	〃 主任	加 藤 将	
12	丸森町農業創造センター 研究副部長	小 林 潤 一	

2 策定経過

日 程	内 容
令和6年4月22日	計画策定方針の決定
令和6年7月12日	第1回策定委員会 ・「丸森町農業振興ビジョン（第一次）」の総括について ・「（仮称）第二次丸森町農業振興ビジョン」の策定方針について
令和6年8月20日	農地集積基盤検討部会（第1回）
令和6年8月22日	水田農業検討部会
令和6年8月27日	農地集積基盤検討部会（第2回）
令和6年8月29日	担い手検討部会
令和6年9月2日	6次産業化・直売所検討部会
令和6年9月5日 ～令和6年9月20日	認定農業者対象アンケート調査の実施 対象者：92名
令和6年9月5日 ～令和6年9月20日	町民対象アンケート調査の実施 対象者：500名
令和6年9月6日 ～令和6年9月13日	丸森中学校2年生対象アンケート調査の実施 対象者：69名
令和6年9月11日	園芸特産検討部会（第1回）
令和6年9月20日	畜産（酪農）検討部会
令和6年10月4日	農地集積基盤検討部会（第3回）
令和6年10月7日	畜産（和牛）検討部会
令和6年10月9日	園芸特産検討部会（第2回）
令和6年10月25日	第2回策定委員会 ・「（仮称）第二次丸森町農業振興ビジョン」の骨子について
令和6年11月25日	農業委員会 ・「（仮称）第二次丸森町農業振興ビジョン」の中間案について
令和6年11月26日	第3回策定委員会 ・「（仮称）第二次丸森町農業振興ビジョン」の中間案について
令和6年11月26日 ～令和6年11月27日	視察研修（山形県酒田市）株式会社 平田牧場 の取組み 視察研修（山形県鶴岡市）鶴岡市立農業経営者育成学校（SEADS）の取組み
令和6年12月4日	議員全員協議会 ・「（仮称）第二次丸森町農業振興ビジョン」の中間案について
令和6年12月6日	町長と認定農業者連絡協議会会員との懇談会 ・「（仮称）第二次丸森町農業振興ビジョン」の中間案について
令和7年1月28日	認定農業者連絡協議会研修会 ・「舞台ファームの挑戦 ～新しい農業のプラットフォームとは？～」
令和7年2月3日 ～令和7年2月14日	パブリック・コメントの実施
令和7年2月20日	第4回策定委員会 ・「（仮称）第二次丸森町農業振興ビジョン」の最終案について
令和7年3月	「丸森町農業振興ビジョン（第二次）」の決定

※策定委員会：第二次丸森町農業振興ビジョン策定委員会

3 アンケート調査結果

3 アンケート調査結果

(1) 認定農業者対象アンケート調査 集計結果

1 調査概要

丸森町農業振興ビジョン（第二次）の策定にあたり、認定農業者の農業経営の状況、農業経営の方針や課題、町の農業振興施策に対する意見を把握し、計画立案の参考とするため、アンケートを実施しました。

実施期間	令和6年9月5日～9月20日
対象者	丸森町認定農業者（町外も含む）92名
回答者	回答者数 44名（回収率 47.8%）

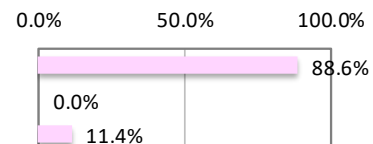
2 調査結果の要旨

- ◆ 年代が高い認定農業者を中心に「後継者を確保していない」との回答が多くなっており、今後の離農や規模縮小に伴って、農地が荒れることが心配されます。
- ◆ 山間部の地区では、規模縮小や離農の方針の認定農業者がいる一方で、規模拡大を希望する生産者はいない状況です。今後、地域計画の協議の場等において、出し手の農地の現状や活用の可能性を検討する必要があります。
- ◆ 農業経営上の問題としては「ほ場区画等の生産基盤」「農地の分散」といった農地条件に関する回答や「労力不足」の回答が多くなっています。
- ◆ 今後の取組として、基盤整備、区画拡大、農地集約といった農地に関する取組や、機械（スマート農機を含む）の導入による省力化が必要となってきます。また「資材・肥料の高騰」も経営上の問題として多く上がっており、耕畜連携や飼料増産が求められています。
- ◆ 担い手の面では、集落営農の設立を期待する意見が多くなっており、現在、集落営農組織がない地区においても、設立検討の必要があります。
- ◆ 園芸については「栽培技術の習得が難しく、品質・収量が上がらない」との回答が野菜の生産者で多くなっています。今後は、施設栽培の拡大や年間を通じた作付け体系の提案が求められており、こうした対応を含め、収量・品質の向上により、農業所得の向上を支援していく必要があります。

3 回答者内訳

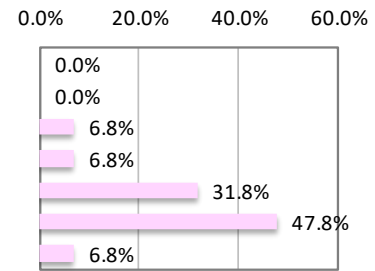
(1) 性別

性別	回答数	回答者 (44名)
男性	39	88.6%
女性	0	0.0%
未回答	5	11.4%
計	44	100.0%



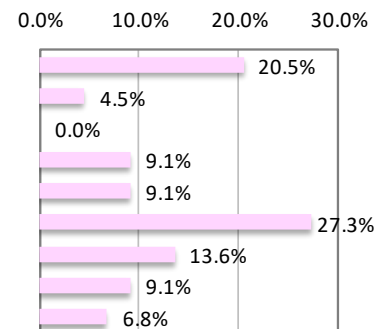
(2) 年代

年 代	回答数	回答者 (44名)
30歳未満	0	0.0%
30歳代	0	0.0%
40歳代	3	6.8%
50歳代	3	6.8%
60歳代	14	31.8%
70歳以上	21	47.8%
未回答	3	6.8%
計	44	100.0%



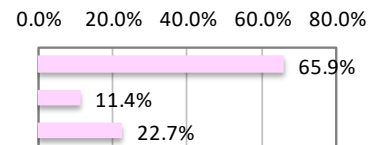
(3) 地区

地 区	回答数	回答者 (44名)
丸森	9	20.5%
金山	2	4.5%
筆甫	0	0.0%
大内	4	9.1%
小斎	4	9.1%
館矢間	12	27.3%
大張	6	13.6%
耕野	4	9.1%
未回答	3	6.8%
計	44	100.0%



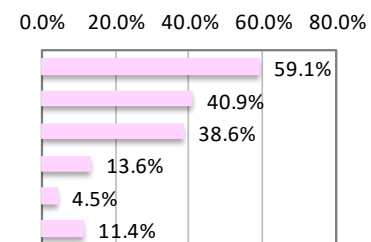
(4) 経営体の別

回答項目	回答数	回答者 (44名)
個人	29	65.9%
法人（集落営農含む）	5	11.4%
未回答	10	22.7%
計	44	100.0%



1. あなたの経営形態について教えてください。（複合経営の場合は該当するもの全てを選択）

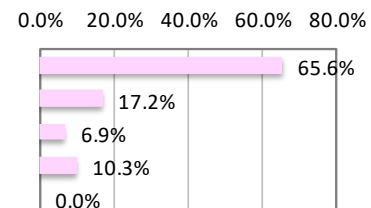
回答項目	回答数	回答者 (44名)
水稲	26	59.1%
畜産	18	40.9%
野菜	17	38.6%
果樹	6	13.6%
花き	2	4.5%
その他	5	11.4%
計	74	-



※複数選択可のため、合計は100%にならない。

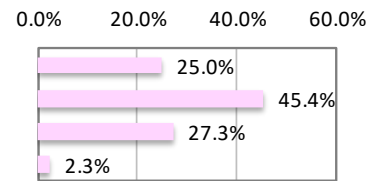
2. 個人経営の方にお伺いします。令和5年度の農業所得（農業収入－経費）はどのくらいですか？

回答項目	回答数	回答者 (29名)
～249万円	19	65.6%
250～399万円	5	17.2%
400～799万円	2	6.9%
800～1,199万円	3	10.3%
1,200万円以上	0	0.0%
計	29	100.0%



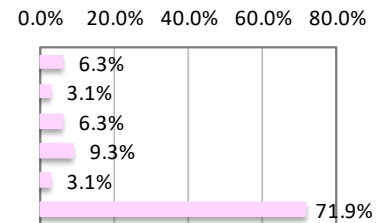
3. 後継者（後継ぎ）はいますか？

回答項目	回答数	回答者 (44名)
いる	11	25.0%
いない	20	45.4%
後継者はいるが継承するかわからない	12	27.3%
未回答	1	2.3%
計	44	100.0%



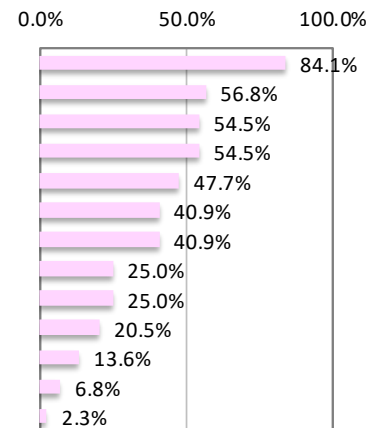
4. 誰が御自身の経営を継承するのがいいとお考えですか？（後継者がいる方以外）

回答項目	回答数	回答者 (32名)
地域の担い手	2	6.3%
集落営農	1	3.1%
新規参入者	2	6.3%
誰も継承しなくていい	3	9.3%
その他	1	3.1%
未回答	23	71.9%
計	32	100.0%



5. 現状の経営でどのような問題がありますか？（複数回答可）

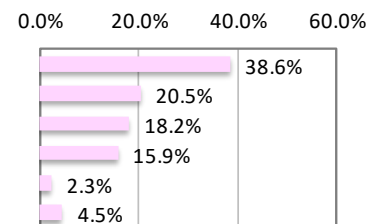
回答項目	回答数	回答者 (44名)
資材代・飼料代が高い	37	84.1%
耕作農地が分散している	25	56.8%
農地の条件が悪い（区画が小さい、不整形、排水不良等）	24	54.5%
気候変動（用水不足や高温による生育不良、病害虫の発生）	24	54.5%
労働力の不足や低下	21	47.7%
農畜産物の販売単価が低い	18	40.9%
農業機械や施設など取得の資金を確保できない	18	40.9%
鳥獣被害が多い	11	25.0%
農業政策や各種支援制度に関する情報の不足	11	25.0%
栽培技術の習得が難しく、収量や品質が上がらない	9	20.5%
会計・税務関係の知識の不足	6	13.6%
その他	3	6.8%
未回答	1	2.3%
計	208	-



※複数選択可のため、合計は100%にならない。

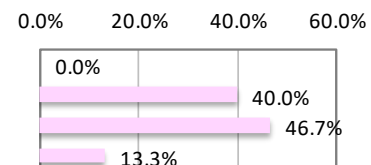
6. 今後（10年後）の経営規模について教えてください。

回答項目	回答数	回答者 (44名)
現状維持	17	38.6%
増やす	9	20.5%
減らす	8	18.2%
離農	7	15.9%
その他	1	2.3%
未回答	2	4.5%
計	44	100.0%



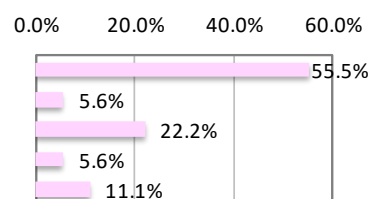
7. 農地を減らす方や離農の方は、現在の農地はどうされますか？

回答項目	回答数	回答者 (15名)
後継者に任せる（経営移譲等）	0	0.0%
貸す、または、売却	6	40.0%
検討中	7	46.7%
未回答	2	13.3%
計	15	100.0%



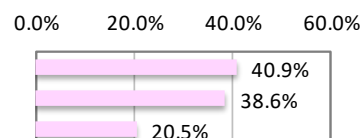
8. 飼養頭数について（畜産農家のみ回答）

回答項目	回答数	回答者 (18名)
現状維持	10	55.5%
増やす	1	5.6%
減らす	4	22.2%
離農	1	5.6%
未回答	2	11.1%
計	18	100.0%



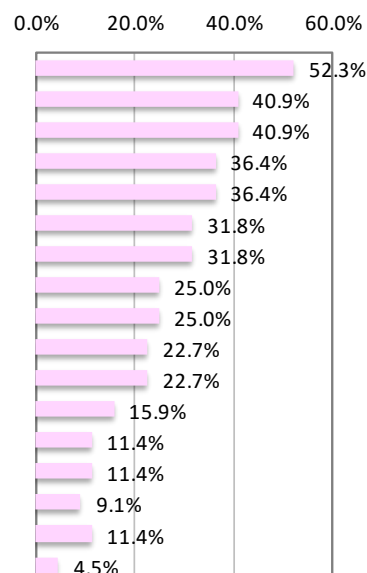
9. 今後（10年後）主要な機械・施設の更新を予定していますか？

回答項目	回答数	回答者 (44名)
予定している	18	40.9%
予定していない	17	38.6%
未回答	9	20.5%
計	44	100.0%



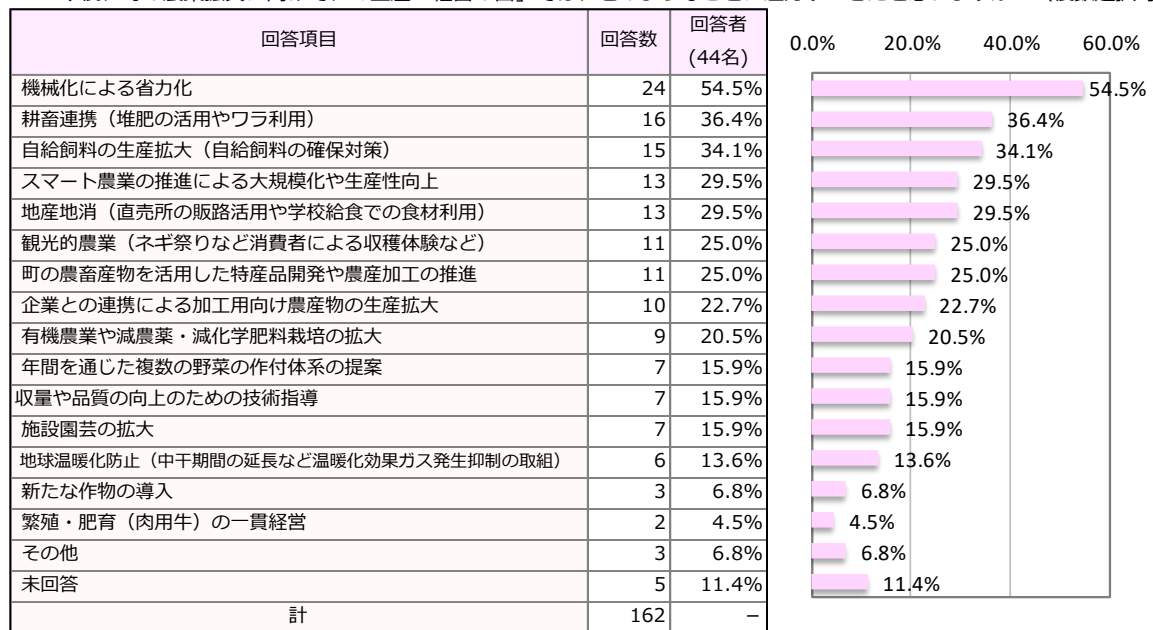
10. 今後、町の農業振興に向けて、「農地・担い手の面」では、どのようなことに注力すべきだと思いますか？（複数選択可）

回答項目	回答数	回答者 (44名)
基盤整備（農地の区画拡大等）	23	52.3%
規模拡大を考える農家への農地のあっせん	18	40.9%
農道や排水など農業インフラの整備・修繕	18	40.9%
経営継承による親元就農の促進（後継者の育成）	16	36.4%
新規就農者の受入・育成	16	36.4%
農地の利用調整（農家や作物ごとに農地をまとめる）	14	31.8%
新たな集落営農の設立	14	31.8%
個別経営体の法人化支援	11	25.0%
地域おこし協力隊の農業法人や団体等での採用	11	25.0%
新規就農者向けの農地の確保	10	22.7%
非農家の協力による農地保全活動	10	22.7%
地元建設会社や農業系企業（食品会社含む）の参入促進	7	15.9%
外国人技能研修生の活用	5	11.4%
援農ボランティアの募集	5	11.4%
障害者の雇用による農福連携	4	9.1%
その他	5	11.4%
未回答	2	4.5%
計	189	—



※複数選択可のため、合計は100%にならない。

11. 今後、町の農業振興に向けて、「生産・経営の面」では、どのようなことに注力すべきだと思いますか？（複数選択可）



※複数選択可のため、合計は100%にならない。

(2) 町民対象アンケート調査 集計結果

1 調査概要

丸森町農業振興ビジョン（第二次）の策定にあたり、町民の農業との関わりや現状や意向、農業への期待についての意見を把握し、計画立案の参考とするため、アンケートを実施しました。

実施期間	令和6年9月5日～9月20日
対象者	町内在住者の16歳以上の方から500名を無作為抽出
回答者	回答者数 158名（回収率 31.6%）

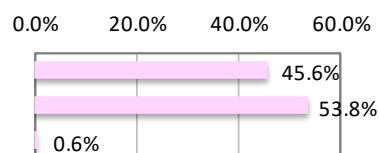
2 調査結果の要旨

- ◆ 今後の農業との関わりを訪ねた結果「アルバイトなどで農業の手伝い」「中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度の活動への参加」「会社を辞めて（又は定年退職したら）農業を始めたい」など、一定数の町民が農業に関与する意向を示しました。
- ◆ 丸森町農業創造センターが、農業に関心のある方を対象に実施している「農業チャレンジ研修」については現状の認知度は15.2%と低いものの、13.9%（22名）の回答者が参加の意思を示しており、今後、農業への就業の入口となることが期待されます。
- ◆ 本町の代表的な農産物（特産品）としての認識については、タケノコと米の2品目が5割以上の回答を得る結果となりましたが、振興作物のブロッコリーについては2.5%と低い結果となりました。今後、園芸作物の産地育成にあたっては、振興作物であることの認知形成からスタートすることが求められます。
- ◆ 町民の直売所の利用回数は、ほぼ毎日（2.5%）、週に1～2回（13.3%）と、週に1回以上利用する割合が合計して2割未満となりました。今後、直売所の品ぞろえを充実することで、町内利用を拡大する余地があります。
- ◆ 町の「農産物認証制度」の認知度は17.1%と低い結果でした。一方で、認証シールが貼ってある商品の購入意向については、前向きな意見が6割以上となっており、安全・安心な農産物に高いニーズがある結果となりました。
- ◆ 「農業への期待」について「安全・安心な農産物を生産する」といった食料供給機能を期待する声が多くなっています。また、「収益性の高い農業を行う」「新たな担い手を確保する」など地域産業として振興を求める意見も多くありました。

3 回答者内訳

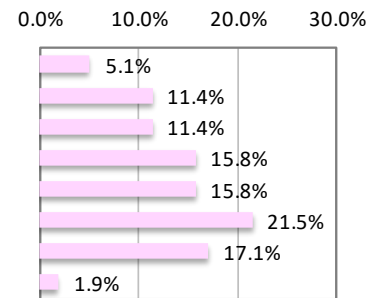
(1) 性別

性別	回答数	回答者 (158名)
男性	72	45.6%
女性	85	53.8%
未回答	1	0.6%
計	158	100.0%



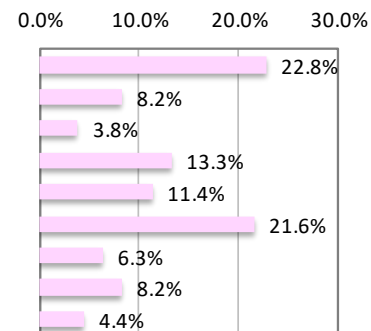
(2) 年代

年 代	回答数	回答者 (158名)
10歳代	8	5.1%
20歳代	18	11.4%
30歳代	18	11.4%
40歳代	25	15.8%
50歳代	25	15.8%
60歳代	34	21.5%
70歳代	27	17.1%
80歳代以上	3	1.9%
計	158	100.0%



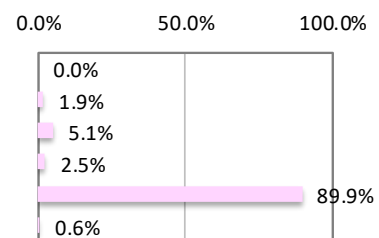
(3) 地区

地 区	回答数	回答者 (158名)
丸森	36	22.8%
金山	13	8.2%
筆甫	6	3.8%
大内	21	13.3%
小斎	18	11.4%
館矢間	34	21.6%
大張	10	6.3%
耕野	13	8.2%
未回答	7	4.4%
計	158	100.0%



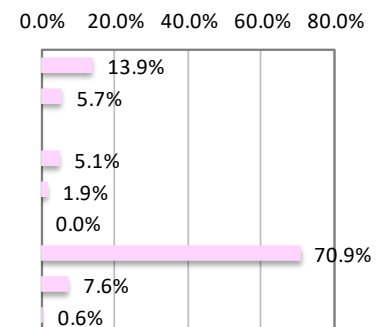
(4) 丸森町の居住歴

丸森町の居住歴	回答数	回答者 (158名)
1年未満	0	0.0%
1～3年	3	1.9%
4～6年	8	5.1%
7～9年	4	2.5%
10年以上	142	89.9%
未回答	1	0.6%
計	158	100.0%



1. 本町の農業との現在の関わり方を教えてください。(複数選択可)

回答項目	回答数	回答者 (158名)
農家（専業又は兼業）として農業に従事している	22	13.9%
「中山間地域等直接支払制度」の集落協定の構成員又は「多面的機能支払制度」の活動組織の構成員として活動している	9	5.7%
農業の手伝い（アルバイト・パート・ボランティアなど）を行っている	8	5.1%
集落営農の構成員として働いている	3	1.9%
農業法人（集落営農以外）の従業員として働いている	0	0.0%
特に関わりはない	112	70.9%
その他	12	7.6%
未回答	1	0.6%
計	167	-

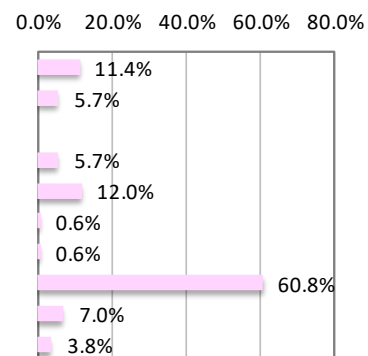


※複数選択可のため、合計は100%にならない。

2. 本町の農業と今後どのように関わっていきたいですか。（複数回答可）

回答項目	回答数	回答者 (158名)
農家として農業を続けていきたい	18	11.4%
「中山間地域等直接支払制度」の集落協定の構成員又は「多面的機能支払制度」の活動組織の構成員として活動していきたい	9	5.7%
会社を辞めて、又は会社を定年で退職したら、農業を始めたい	9	5.7%
農業の手伝い（アルバイト・パート・ボランティアなど）を行いたい	19	12.0%
集落営農の構成員として働きたい	1	0.6%
農業法人（集落営農以外）の従業員として働きたい	1	0.6%
特に関わる考えはない	96	60.8%
その他	11	7.0%
未回答	6	3.8%
計	170	-

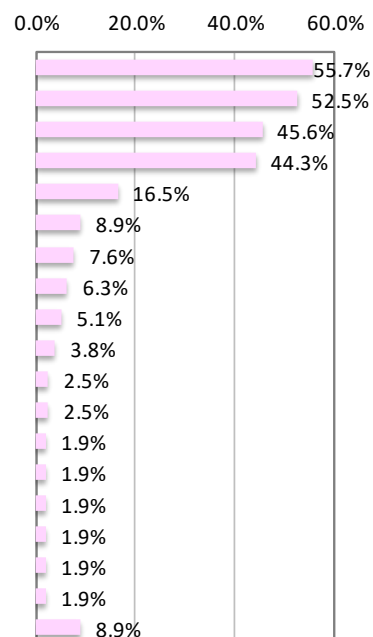
※複数選択可のため、合計は100%にならない。



3. 本町の代表的な農産物（特産品）は何だと思えますか？（3つまで選択可）

回答項目	回答数	回答者 (158名)
タケノコ	88	55.7%
米	83	52.5%
生柿・干し柿	72	45.6%
へそ大根	70	44.3%
自然薯	26	16.5%
エゴマ（じゅうねん）	14	8.9%
牛乳（生乳）	12	7.6%
ハチミツ	10	6.3%
山菜類	8	5.1%
漬物類（梅干し含む）	6	3.8%
ブロッコリー	4	2.5%
ぶどう	4	2.5%
牛肉	3	1.9%
豚肉	3	1.9%
イチゴ	3	1.9%
イチジク	3	1.9%
小菊・スプレー菊	3	1.9%
その他	3	1.9%
未回答	14	8.9%
計	429	-

※複数選択可のため、合計は100%にならない。



4. 他に振興すべき農産物（特産品）は何だと思えますか？（3つまで記載可）

【野菜】

振興すべき農産物（特産品）	回答数
しいたけ、山菜類	5
えだまめ、ヤーコン、キノコ類	3
カボチャ、キクイモ、トウモロコシ、ネギ、きゅうり、葉物類	2
アスパラガス、ウド、グリーンピース、サツマイモ、サトイモ、ジャガイモ、トマト	1
スナップエンドウ、ピーマン、ラッキョウ	

【果樹】

振興すべき農産物（特産品）	回答数
りんご	5
シャインマスカット	3
うめ、もも、ゆず、みかん	2
キウイフルーツ、くり、サクラランボ、ナシ、ブルーベリー、桑の実	1

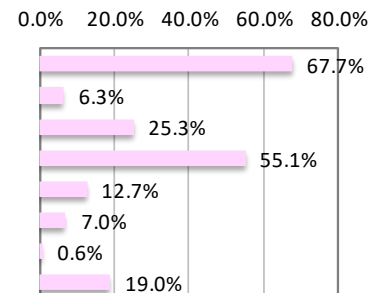
【肉・その他】

振興すべき農産物（特産品）	回答数
そば、花	3
ジェラート	2
イノシシの肉、ジビエ肉、エゴマ油、酒、米粉を使った菓子類、酒米、焼き芋 ハチミツ加工品、フルーツサンド、ラーメン、ワイン用のぶどう、メンマ、竹炭 桑の加工品、養蚕、丸森和紙	1

5. 町内の農産物直売所のうち、主に利用するところはどこですか？（3つまで選択可）

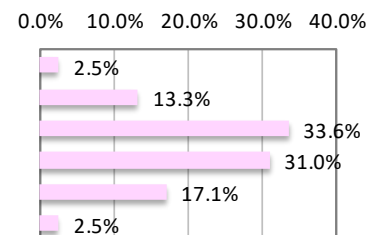
回答項目	回答数	回答者 (158名)
丸森物産いちば八雄館	107	67.7%
J A みやぎ仙南女性部ふれあい農園直売所	10	6.3%
不動直売センター	40	25.3%
いきいき交流センター大内	87	55.1%
いなか道の駅やしまや	20	12.7%
あがらいん伊達屋	11	7.0%
柳沢直売所	1	0.6%
どこも利用しない	30	19.0%
計	306	-

※複数選択可のため、合計は100%にならない。



6. 上記の農産物直売所の利用回数はどの程度ですか？

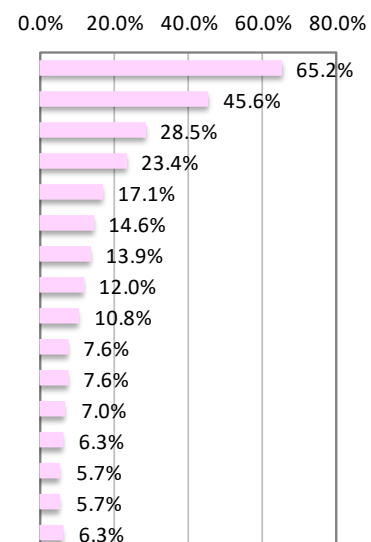
回答項目	回答数	回答者 (158名)
ほぼ毎日	4	2.5%
週に1～2回	21	13.3%
月に1～2回	53	33.6%
年に数回	49	31.0%
ほとんど利用しない	27	17.1%
未回答	4	2.5%
計	158	100.0%



7. 農産物直売所の魅力を向上させるには、何が必要だと思いますか？（3つまで選択可）

回答項目	回答数	回答者 (158名)
新鮮な農産物（野菜や果物）が並んでいる	103	65.2%
価格が安い	72	45.6%
安全・安心な農産物が並んでいる	45	28.5%
商品の品揃え（種類）が多い	37	23.4%
チラシやSNSでの情報発信	27	17.1%
イベントの開催	23	14.6%
明るい雰囲気のお店づくり	22	13.9%
農産物以外の商品が並んでいる（菓子類や工芸品など）	19	12.0%
生産者の顔が見える	17	10.8%
店員の接客が良い	12	7.6%
商品がいつも棚いっぱいになっている	12	7.6%
農産物を使った加工品（漬物類を含む）が多い	11	7.0%
営業時間を長くする	10	6.3%
農産物以外の生鮮食料品が並んでいる（肉・魚・卵）	9	5.7%
その他	9	5.7%
未回答	10	6.3%
計	438	-

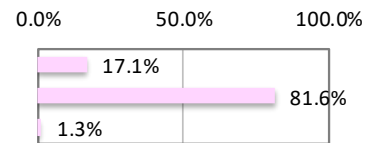
※複数選択可のため、合計は100%にならない。



8. 「丸森産農産物認証制度」について教えてください。

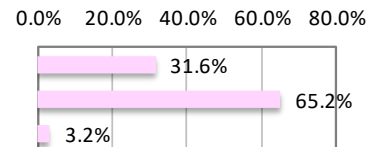
(1) この制度を知っていましたか？

回答項目	回答数	回答者 (158名)
知っていた	27	17.1%
知らなかった	129	81.6%
未回答	2	1.3%
計	158	100.0%



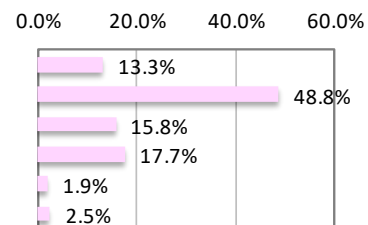
(2) 認証シールが貼ってある商品を見たことがありますか？

回答項目	回答数	回答者 (158名)
見たことがある	50	31.6%
見たことがない	103	65.2%
未回答	5	3.2%
計	158	100.0%



(3) 認証シールが貼ってある商品を購入したいですか？

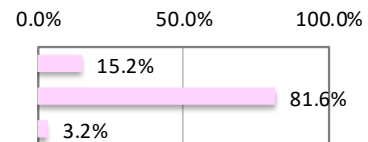
回答項目	回答数	回答者 (158名)
積極的に購入したい	21	13.3%
どちらかといえば購入したい	77	48.8%
特に購入したいとは思わない	25	15.8%
どこで売っているのかわからないので購入したくても、購入できない	28	17.7%
その他	3	1.9%
未回答	4	2.5%
計	158	100.0%



9. 丸森町農業創造センターが実施している「農業チャレンジ研修」について教えてください。

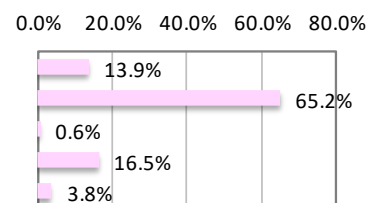
(1) 「農業チャレンジ研修」を知っていましたか？

回答項目	回答数	回答者 (158名)
知っていた	24	15.2%
知らなかった	129	81.6%
未回答	5	3.2%
計	158	100.0%



(2) 「農業チャレンジ研修」に参加したいと思いますか？

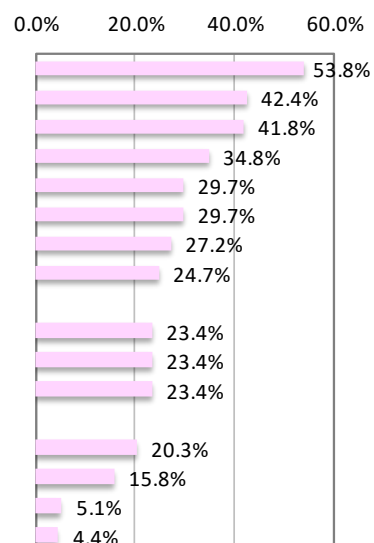
回答項目	回答数	回答者 (158名)
参加したい	22	13.9%
参加したくない	103	65.2%
過去に参加したことがある	1	0.6%
その他	26	16.5%
未回答	6	3.8%
計	158	100.0%



10. 本町の農業にどんなことを期待しますか？（複数選択可）

回答項目	回答数	回答者 (158名)
安全・安心な農産物を生産する	85	53.8%
収益性の高い農業を行う（農業を儲かるようにする）	67	42.4%
新規就農者や地域おこし協力隊など新たな担い手を確保する	66	41.8%
地元の農産物を活用した加工品（特産品）を開発する	55	34.8%
地元の農産物を地元の人が買い支える地産地消を進める	47	29.7%
子どもたちへの食育を充実させる	47	29.7%
良好な農地や農村風景を将来世代に引き継ぐ	43	27.2%
多様な人材（非農家、高齢者、障害者、外国人など）が関わる農業を行う	39	24.7%
大規模な農業者や農業法人（集落営農を含む）を育成する	37	23.4%
耕作条件の悪い農地が多いので農地整備を進める	37	23.4%
先進技術やスマート農業機械（ドローンや自動操舵トラクター等）を使った農業を進める	37	23.4%
地球温暖化防止（CO2削減）に配慮した農業を行う	32	20.3%
農業体験や援農ボランティアの実施による農村交流事業を行う	25	15.8%
その他	8	5.1%
未回答	7	4.4%
計	632	—

※複数選択可のため、合計は100%にならない。



(3) 丸森中学校2年生対象アンケート調査 集計結果

1 調査概要

丸森町農業振興ビジョン（第二次）の策定にあたり、中学生の農業への関心や、将来の仕事としての意向を把握し、計画立案の参考とするため、アンケートを実施しました。

実施期間	令和6年9月6日～9月13日
対象者	丸森中学校2年生 69名
回答者	回答者数 59名（回収率 85.5%）

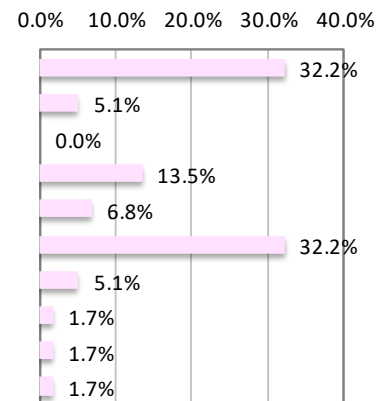
2 調査結果の要旨

- ◆「将来農業を仕事としたいか」について、就農の可能性を示す回答は4名と限られました。また「わからない」との回答が21名と多く、中学2年生時点で、職業についての考えを回答することが難しかった状況が伺えます。
- ◆「農業への興味関心」の回答では、全体の6割以上の39名が「ある」「どちらかといえばある」と回答していることや、農業体験への参加意向を示す回答も多くなっています。今後、体験等の場で生産者との接点を確保し、生産者から農業の喜び、やりがい、苦労などを聞くことのできる機会を設けるなどの取組により、中学生が今後職業を検討するうえで、農業が選択肢となるよう情報を提供することが必要と考えられます。

3 回答者内訳

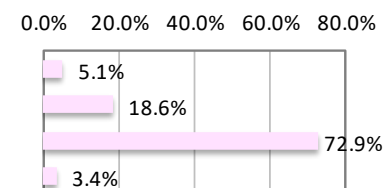
(1) 地区

地 区	回答数	回答者 (59名)
丸森	19	32.2%
金山	3	5.1%
筆甫	0	0.0%
大内	8	13.5%
小斎	4	6.8%
館矢間	19	32.2%
大張	3	5.1%
耕野	1	1.7%
その他	1	1.7%
未回答	1	1.7%
計	59	100.0%



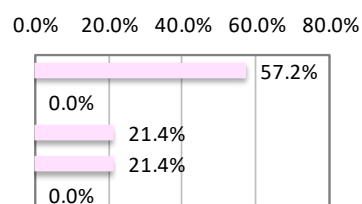
1. あなたの家は農家ですか？

回答項目	回答数	回答者 (59名)
専業農家	3	5.1%
兼業農家	11	18.6%
農家ではない	43	72.9%
わからない	2	3.4%
計	59	100.0%



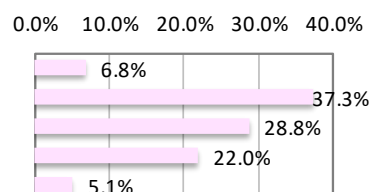
2. あなたの家は何を主とした農家ですか？（1. で「1 専業農家」「2 兼業農家」と答えた方のみ）

回答項目	回答数	回答者 (14名)
米	8	57.2%
畜産（牛、豚、鶏）	0	0.0%
園芸（野菜、果樹、花）	3	21.4%
その他	3	21.4%
わからない	0	0.0%
計	14	100.0%



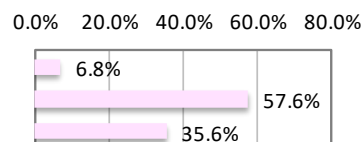
3. あなたは、農業に関心や興味がありますか？

回答項目	回答数	回答者 (59名)
ある	4	6.8%
どちらかといえばある	22	37.3%
どちらかといえばない	17	28.8%
ない	13	22.0%
わからない	3	5.1%
計	59	100.0%



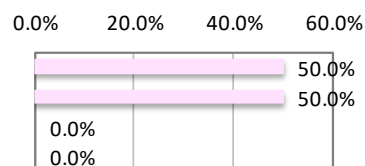
4. 将来、農業を自分の仕事にしたいですか？

回答項目	回答数	回答者 (59名)
したい	4	6.8%
したくない	34	57.6%
わからない	21	35.6%
計	59	100.0%



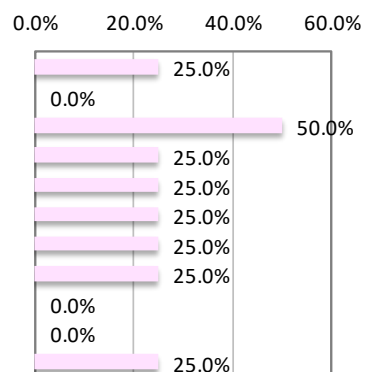
5. 将来、どのような形で働きたいですか？（4. で「したい」と答えた方のみ）

回答項目	回答数	回答者 (4名)
専業農家	2	50.0%
兼業農家	2	50.0%
農業法人（会社）の経営者	0	0.0%
農業法人（会社）の従業員	0	0.0%
計	4	100.0%



6. 仕事にしたいと思う理由を教えてください。（4. で「したい」と答えた方のみ）（3つまで選択可）

回答項目	回答数	回答者 (4名)
農業に興味があるから	1	25.0%
自分に向いてそうだから	0	0.0%
やりがいのある仕事だから	2	50.0%
儲かりそうだから	1	25.0%
楽しそうだから	1	25.0%
農地や環境を守りたいから	1	25.0%
家族を手伝いたいから	1	25.0%
米や野菜や肉などの食べ物を作りたいから	1	25.0%
自由な時間を作れそうだから	0	0.0%
農業農人（会社）を経営したいから	0	0.0%
未回答	1	25.0%
計	9	-

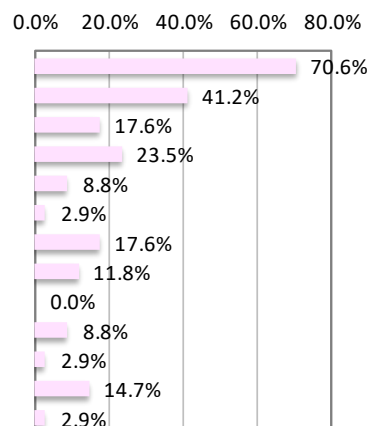


※複数選択可のため、合計は100%にならない。

7. 仕事にしたいくない理由を教えてください。（4. で「したくない」と答えた方のみ）（3つまで選択可）

回答項目	回答数	回答者 (34名)
他の仕事に興味があるから	24	70.6%
自分に向いてなさそうだから	14	41.2%
きつい仕事（重労働）だから	6	17.6%
儲かりそうにないから	8	23.5%
天候に左右されるから	3	8.8%
楽しくなさそうだから	1	2.9%
汚れるから	6	17.6%
身近に農業をしている人がいないから	4	11.8%
米や野菜や肉などの食べ物を作りたいと思わないから	0	0.0%
休みがないから	3	8.8%
イメージが暗いから	1	2.9%
その他	5	14.7%
わからない	1	2.9%
計	76	—

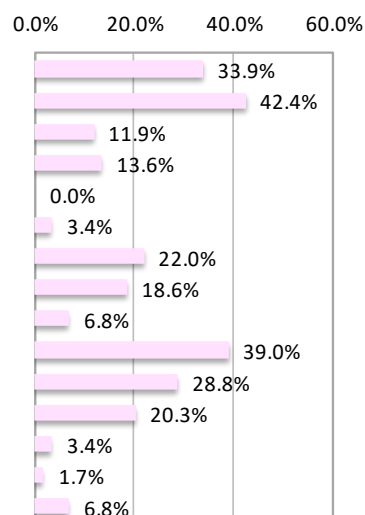
※複数選択可のため、合計は100%にならない。



8. 今の丸森町の農業（農村）のイメージを教えてください。（3つまで選択可）

回答項目	回答数	回答者 (59名)
水と緑が輝いている	20	33.9%
空気がきれい	25	42.4%
美しい農村環境が守られている	7	11.9%
米の産地	8	13.6%
野菜の産地	0	0.0%
畜産の産地	2	3.4%
農家の人がんばっている	13	22.0%
イノシシなどの鳥獣被害が多い	11	18.6%
直売所が多い	4	6.8%
高齢者が多い	23	39.0%
人が少ない	17	28.8%
特産品が多い（こし柿、タケノコ、へそ大根など）	12	20.3%
その他	2	3.4%
わからない	1	1.7%
未回答	4	6.8%
計	149	—

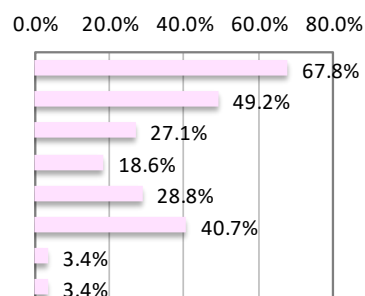
※複数選択可のため、合計は100%にならない。



9. 将来の丸森の農業（農村）がどうなったら良いか、あなたのイメージを教えてください。（3つまで選択可）

回答項目	回答数	回答者 (59名)
きれいな水と緑を残してほしい	40	67.8%
空気がきれいな田舎がいい	29	49.2%
米や野菜の産地を目指してほしい	16	27.1%
畜産の産地を目指してほしい	11	18.6%
農家の人がんばってほしい	17	28.8%
若い人たちにがんばってほしい	24	40.7%
わからない	2	3.4%
未回答	2	3.4%
計	141	—

※複数選択可のため、合計は100%にならない。



10. 米以外で、丸森の農家の人にもっと作ってもらいたい農産物は何ですか。（3つまで自由記載）

【野菜】

品 目	理 由	回答数
イチゴ	好きだから、おいしいから、丸森に来るきっかけになる	4
きゅうり	好きだから	3
へそ大根	有名だから、県外にもっと売って宮城県を知ってほしい	2
タケノコ	特産品だから、県外にもっと売って宮城県を知ってほしい	2
えだまめ	好きだから	1
キャベツ	好きだから	1
サトイモ	おいしいから	1
すいか	好きだから	1
トウモロコシ	未回答	1
トマト	未回答	1
ミニトマト	好きだから	1
ピーマン	ピーマンの肉詰めが食べられるから	1

【果物】

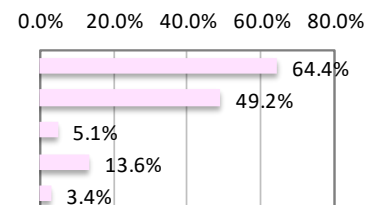
品 目	理 由	回答数
果物全般	好きだから、おいしいから、果物はあまりないから 県外などに買いに行くのが大変だから、有名になりそう	13
ぶどう	好きだから、おいしいから	4
ナシ	好きだから	2
バナナ	好きだから	2
柿	干し柿をもっと作って県外にも売ったほうがよい	1
ドラゴンフルーツ	好きだから	1
マンゴー	好きだから	1
もも	未回答	1
りんご	若い人に人気があり加工しやすい	1

【肉・その他】

品 目	理 由	回答数
肉（牛肉ほか）	好きだから、食べたいから	3
米	米が少ないから、「とかい」と比べてきれいでおいしい	2
小麦	パンを作ってほしいから	1
牛乳	好きだから	1
花	町を明るく照らしてほしいから	1
特産品	特産品は大事だから	1

11. 今までに農業体験をしたことはありますか。（複数選択可）

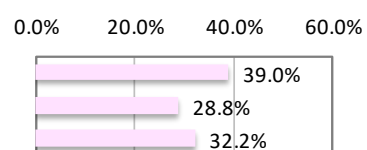
回答項目	回答数	回答者 (59名)
学校の授業で体験したことがある	38	64.4%
親や親せき等の手伝いで体験したことがある	29	49.2%
地域や他市町村等で実施しているイベントで体験したことがある	3	5.1%
体験したことがない	8	13.6%
わからない	2	3.4%
計	80	—



※複数選択可のため、合計は100%にならない。

12. 今後、農業体験をしたいとおもいますか？

回答項目	回答数	回答者 (59名)
したいと思う	23	39.0%
したいと思わない	17	28.8%
わからない	19	32.2%
計	59	100.0%



4 用語解説

索引	用 語	解 説	掲載頁
あ	ICT	Information and Communication Technology の略。情報や通信に関する技術の総称。	P39
あ	アグリビジネス	意欲ある農業経営者が、経営の多角化や事業連携によって、販売流通・農産加工をはじめとする関連産業の付加価値を取り込んで経営を発展させるビジネスを指す。	P31 等
あ	アニマルウェルフェア	感受性を持つ生き物としての家畜に心を寄り添わせ、誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なく、行動要求が満たされた、健康的な暮らしができる飼育方法をめざす畜産のあり方。	P28
い	稲 WCS	稲の子実が完熟する前に、子実及び茎葉を一体的に収穫・密封し、発酵させた貯蔵飼料。	P30
え	A 2 ミルク	牛乳に含まれるたんぱく質の一つであるベータ・カゼインには、遺伝子の違いにより A 1 と A 2 の二種類があり、A 2 だけの遺伝子を持つ牛から生産された牛乳が A 2 ミルクと呼ばれ、おなかにやさしく血流改善やコレステロール値の低下など、健康面にも効果があると言われている。	P42
か	関係人口	移住した「定住人口」でも観光で訪れた「交流人口」でもない、農山漁村地域と様々な形で関わる人。	P34
き	基本構想（基本構想水準到達者）	農業経営基盤強化促進法第 6 条に基づき、各市町村が定める「効率的かつ安定的な農業経営の育成を図る」ための基本方針。本町では、主たる農業従事者 1 人当たりの年間農業所得を 400 万円程度とする経営指標などを掲げている。 また、基本構想水準到達者は、その指標水準に達している農業従事者で、認定農業者になっていない者のこと。	P26
し	牛群（ぎゅうぐん）	乳用牛・肉用牛において、能力の向上を図る場合などに 1 頭ごとに取り扱うのではなく、農家・地域単位など集団で取り扱うことが多い。このような場合の牛の集団を牛群と呼ぶ。	P28
け	ゲノム解析	牛の遺伝情報を解析することで、雌牛の能力・体型・管理形質（気質・搾乳性）等の改良項目を数値化すること。	P28
こ	耕作放棄地	以前耕地であったもので、過去 1 年間以上作物を栽培せず、しかも、今後数年の間に再び作付けする考えのない土地。農林業センサスにおいて、農家の自己申告により把握・集計される。	P7 等
こ	高収益作物	主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物をいい、野菜、花き・花木及び果樹に該当する作物をいう。	P17 等
こ	耕畜連携（こうちくれんけい）	米、野菜等を生産している耕種農家へ畜産農家から堆肥を供給したり、逆に転作田等で飼料作物を生産し、畜産農家の家畜の飼料として供給するなど、耕種農家と畜産農家との連携を図ること。	P10 等

索引	用 語	解 説	掲載頁
し	自給的農家	経営耕地面積が 30a 未満かつ農林業センサス調査期日前 1 年 間における農産物販売金額が 50 万円未満の農家。	P3
し	実需者（じつじゅし ゃ）	量販店又は加工業者等の大口実需者。	P29 等
し	集落営農組織	集落等地縁的にまとまりある一定の地域内の農業者が共同で 営農活動を行う組織。	P6
し	食農教育（しょくのう きょういく）	生きることの最も基本的な要素である「食」と、それを支え る「農（農業）」について、学び体験すること	P37 等
し	飼料作物	家畜の飼料にする目的で栽培される植物の総称。	P28 等
せ	生産基盤	田畑・水路・農道等の農業生産の基礎となる土地又は施設。	P17 等
た	田んぼダム	水田下流域の農地や宅地の洪水被害を軽減させるため、大雨 が降った時に雨水を水田に一時的に貯留し、排水路や河川へ の流出を抑制する取組のこと。	P17 等
ち	地域計画	地域が抱える「人と農地の問題」の解決を図るため、地域の 話合いにより市町村が作成するもので、今後の中心となる経 営体や将来の農地利用のあり方、地域農業のあり方などをま とめた計画。	P16 等
て	DX	Digital Transformation の略。デジタル技術を活用し、生産 から販売までの管理徹底や作業プロセスの改善を図るなど、 農業経営の効率化を図る取組。	P28 等
ち	地産地消	地域で生産されたものをその地域で消費すること。さらに は、地域の消費者需要に応じた農業生産及び生産された農産 物を地域で消費しようとする活動を通じて、生産者と消費者 を結びつける取組。	P12 等
ち	中山間地域	平野の周辺部から山間地に至る地域で、傾斜地が多く、平野 部に比べ生産性が劣る反面、土砂崩れの防止及び水の供給等 の公益的な役割を果たしている地域。	P8 等
に	二地域居住	都市部と地方部に二つの拠点をもち、定期的に地方部でのん びり過ごしたり、仕事をしたりするライフスタイルのこと。	P36
の	農業産出額	農畜産物の品目別生産数量に、品目ごとの農家庭先価格を乗 じて算出したもの。ただし、品目別生産数量からは、種子や 飼料等の再び農業生産のために仕向けられた中間生産物の数 量を控除している。	P1
の	農業法人	法人形態により農業を営む法人の総称。農協法に基づく「農 事組合法人」と会社法に基づく「会社法人」に大別される。	P19 等
の	農村 RMO	複数の集落機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とし た経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に 資する取組を行う組織のこと。RMO は、Region Management Organization（地域経営組織）の頭文字によ る造語。	P34

索引	用 語	解 説	掲載頁
の	農村地域が持つ多面的機能	農業・農村は「食」を支えているだけでなく、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの働きを持っており、このような様々な働きのこと。	P14 等
の	農地集積	地域の農地の有効利用を図るために、所有権の移転、利用権の設定、作業受託等によって、農地を認定農業者等の中核となる担い手に集積すること。	P8 等
の	農地中間管理事業	農地中間管理事業は、賃借を中心とした農地の中間的な受け皿機能を強化し、農業経営の規模拡大や農用地の集団化、新たに農業経営を営もうとする者の参入の進等によって、農地利用の効率化と生産性の向上を進める事業。	P33
ふ	ブランド化	同種の食品と比較して、競争上有利な地位や生産者・製造者に対する信頼・支持・評価が確立していることと、そのための一連の取組の総称。	P42
も	目標地図	将来の農業のあり方や、地域の農地の効率的かつ総合的な利用を図るために、誰がどの農地を利用していくのかを一筆ごとに定めた地図のことであり、地域計画の一部となる。	P16 等
ろ	6次産業化	農林水産物の生産だけでなく、食品加工及び流通・販売等に農林漁業者が主体的かつ総合的に関わることによって、付加価値のより多くの部分を農林漁業者に帰属させることで、農林漁業者の所得増大や地域活性化を推進する取組。	P13 等

5 まるもり型農業経営モデル

本町で営農する農業者が、農業所得額 400 万円以上を確保するため、その目安となる「まるもり型農業経営モデル」を下記のとおり示します。

No.	営農 類型	経営規模	生産方式	従事 者数	必要な機械・施設	地域
1	水稻 + 施設園芸	・水稻 自作地 10ha 借地 10ha ・トマト（施設） ・ブロッコリー（露地）	20ha 10a 30a 【水稻】 機械化一貫体系 品種：つや姫 コシヒカリ 【トマト】 冬播種・春定植・夏収穫 【ブロッコリー】 夏播種、定植・秋冬収穫	主 1 補 1 臨時 3	・トラクター 1 台 ・コンバイン 1 台 ・田植え機 1 台 ・水稻育苗ハウス 3 棟 ・パイプハウス 3 棟 ・防除機 1 台 ・ブロッコリー定植機 1 台	平坦部
2	施設・ 露地園芸 + 水稻	・いちご（施設） ・ブロッコリー（露地） ・水稻	20a 50a 5ha 【いちご】 土耕栽培 品種：にこにこベリー 【ブロッコリー】 夏播種、定植・秋冬収穫 【水稻】 機械化一貫体系・直播栽培 品種：つや姫	主 2	・トラクター 2 台 ・コンバイン 1 台 ・水稻直播機 1 台 ・ブロッコリー定植機 1 台 ・鉄骨ハウス 2 棟 ・水稻育苗ハウス 2 棟 ・防除機 1 台	平坦部
3	水稻 + 露地園芸	・水稻 自作地 2ha 借地 3ha ・小菊（露地） ・ネギ（露地） 自作地 20a 借地 30a	5ha 30a 50a 【水稻】 機械化一貫体系 品種：コシヒカリ、つや姫 【小菊】 春定植・夏秋収穫 【ネギ】 冬播種・春定植・冬収穫	主 2 臨時 3	・トラクター 1 台 ・コンバイン 1 台 ・田植え機 1 台 ・水稻育苗ハウス 2 棟 ・防除機 1 台 ・小菊定植機 1 台	平坦部 山間部
4	施設・ 露地園芸 + 水稻	・柿（干柿加工） ・ブロッコリー（露地） ・水稻 自作地 1ha 借地 4ha ・きゅうり（施設）	2ha 30a 5ha 10a 【柿】 皮剥き・乾燥・干柿加工 【ブロッコリー】 夏播種、定植・秋冬収穫 【水稻】 機械化一貫体系 品種：つや姫 【きゅうり】 春定植・夏秋収穫	主 2 臨時 5	・トラクター 1 台 ・コンバイン 1 台 ・田植え機 1 台 ・ブロッコリー定植機 1 台 ・水稻育苗ハウス 2 棟 ・柿乾燥施設 1 棟 ・柿皮むき機 1 台 ・柿防除機械 1 式 ・防除機 1 台	山間部
5	施設・ 露地園芸	・たまねぎ ・ブロッコリー（露地） 自作地 30a 借地 20a ・トマト（施設）	50a 50a 20a 【たまねぎ】 秋播種・冬定植・夏収穫 【ブロッコリー】 夏播種、定植・秋冬収穫 【トマト】 冬播種・春定植・夏秋収穫	主 2	・トラクター 1 台 ・育苗ハウス 1 棟 ・パイプハウス 3 棟 ・各種定植機 1 式 ・防除機 1 台	平坦部 山間部

No.	営農 類型	経営規模		生産方式	従事 者数	必要な機械・施設		地域
6	施設・ 露地園芸	・トマト（施設） ・ほうれん草（施設） ・たまねぎ（露地） ・ニンジン（露地）	15a 10a 50a 50a	【トマト】 冬播種・春定植・夏収穫 【ほうれん草】 秋播種・冬収穫 【たまねぎ】 秋播種・冬定植・夏収穫 【ニンジン】 秋播種・冬収穫	主 1 補 1 臨時 2	・トラクター ・育苗ハウス ・パイプハウス ・各種定植機 ・防除機	1 台 1 棟 5 棟 1 式 1 台	平坦部 山間部
7	露地園芸	・ブロッコリー（露地） ・ニンジン（露地） ・キャベツ（露地） ・イチジク（露地）	50a 100a 100a 50a	【ブロッコリー】 夏播種、定植・秋冬収穫 【ニンジン】 秋播種・冬収穫 【キャベツ】 秋播種・春収穫 【イチジク】 夏防除、剪定、秋収穫	主 1 補 1	・トラクター ・育苗ハウス ・各種定植機 ・防除機	1 台 1 棟 1 式 1 台	平坦部
8	畜産 （酪農）	・酪農 （搾乳牛）30 頭 （育成牛）10 頭 ・飼料作物生産 自作地 5ha 借地 5ha	40 頭 10ha	【酪農】 つなぎ飼養 子牛育成センター・ 町営放牧場での育成 【飼料作物】 イタリアンライグラス 飼料用トウモロコシ	主 2 臨時 1	・牛舎 ・育成畜舎 ・トラクター ・ダンプ（2 t） ・ローダー ・搾乳用機械 ・飼料作物生産機械	1 棟 1 棟 1 台 1 台 1 台 1 式 1 式	平坦部 山間部
9	畜産 （肉用牛）	・肉用牛 （繁殖）20 頭 （育成）2 頭 （子牛）8 頭 ・飼料作物 自作地 50a 借地 50a	30 頭 2ha	【肉用牛（繁殖）】 黒毛和種による繁殖 子牛育成センター・ 町営放牧場での育成 【飼料作物】 イタリアンライグラス	主 2	・畜舎 ・トラクター ・ダンプ（2 t） ・ローダー ・飼料作物生産機械	1 棟 1 台 1 台 1 台 1 式 1 式	山間部